

2025 年 8 月

2024 年度（令和 6 年度）

港湾厚生関連施設

事業報告書

指定管理者

一般社団法人 横浜港湾福利厚生協会

<事業報告>

- 1 利用実績（利用者数等）
- 2 管理業務の実施報告
- 3 利用状況分析報告
- 4 利用者アンケートの結果及び対応状況
- 5 収支決算書
- 6 自主事業の実施状況に関する事項
- 7 研修等の計画・実施
- 8 自己評価について
- 9 その他

1 利用実績（利用者数等）

（１）食堂利用者数

単位：人

港湾厚生関連施設名	2024 年度	2023 年度	増△減	備考
山下ふ頭港湾厚生センター本館	85,819	78,229	7,590	山下ふ頭
本牧ふ頭港湾厚生センター	62,994	59,696	3,298	本牧ふ頭
本牧ふ頭B 突堤厚生施設	26,808	26,341	467	〃
港湾労働者本牧ふ頭厚生施設	4,034	4,267	△233	〃
大黒ふ頭港湾厚生センター	89,289	88,419	870	大黒ふ頭
大黒ふ頭レストハウス	75,564	71,625	3,939	〃
出田町ふ頭港湾厚生センター	117,198	84,594	32,604	出田町ふ頭
計	461,706	413,171	48,535	

（２）売店利用者数（直営店）

単位：人

港湾厚生関連施設名	2024 年度	2023 年度	増△減	備考
本牧ふ頭港湾厚生センター	427,688	418,902	8,786	本牧ふ頭

（３）会議室利用件数

単位：件

港湾厚生関連施設名	2024 年度	2023 年度	増△減	備考
横浜市港湾労働会館	2,994	3,153	△159	

2 管理業務の実施報告

（１）施設及び敷地の使用許可に関する業務

単位：件数

港湾厚生関連施設名	使用許可関係				工作物関係		自動車保管場所関係	
	使用申請	使用許可	変更申請	変更許可	設置・変更申請	設置・変更許可	使用申請	使用許可
山下ふ頭港湾厚生センター本館	2	2						
山下ふ頭港湾厚生センター別館	2	2						
本牧ふ頭港湾厚生センター	1	1						
本牧ふ頭B 突堤厚生施設	1	1						
港湾労働者本牧ふ頭厚生施設	1	1						
大黒ふ頭港湾厚生センター	4	4						
大黒ふ頭レストハウス	4	4						
出田町ふ頭港湾厚生センター	1	1						
横浜市港湾労働会館	11	11					6	6
計	27	27					6	6

(2) 施設、設備及び敷地の保守管理に関する業務

基本協定書第9条2項の別紙3「仕様書」に記載されている「4 港湾厚生関連施設の管理に関する業務の基準」に基づき、必要な維持管理業務の経費節減と中長期的な費用対効果の向上を重視の上、効率的な業務の推進を図りました。

保守管理の詳細については、「指定管理月報」にて報告しております。

3 利用状況分析報告

(1) 食堂利用者数

各食堂の利用者が回復しております。利用者数は小規模の一店舗を除き軒並み増加しており、食堂全体で前年度より48,535人増となりました。

(2) 売店利用者数

売店の利用者は回復傾向にあり、前年度より8,786人増となりました。

(3) 会議室利用件数

会議室の利用件数は夜間や土曜日の利用が減少傾向にあったため、前年度より159件減となりました。

4 利用者アンケートの結果及び対応状況

2024年12月に実施しました。

全体的に満足の評価が多く、清掃に関しても一定の評価をいただいておりますので引き続き清潔で快適な施設を維持し、多くの利用者に満足いただくよう努めてまいります。

アンケート集計結果は、「指定管理月報」にて報告しております。

5 収支決算書

別紙のとおり

6 自主事業の実施状況に関する事項

(1) グリストラップ槽清掃（簡易清掃）

実施施設：全施設

(2) AED（自動体外式除細動装置）

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、本牧ふ頭港湾厚生センター、大黒ふ頭港湾厚生センター、横浜市港湾労働会館
※全施設で救命活動はありませんでした。

(3) 玄関マット

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、本牧ふ頭港湾厚生センター、
本牧ふ頭 B 突堤厚生施設、大黒ふ頭港湾厚生センター、
横浜市港湾労働会館

(4) 洋式トイレの便座クリーナー

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、本牧ふ頭港湾厚生センター、
横浜市港湾労働会館

(5) 防犯カメラ

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、本牧ふ頭港湾厚生センター、
大黒ふ頭港湾厚生センター、横浜市港湾労働会館

(6) 機械警備の実施

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、本牧ふ頭港湾厚生センター
大黒ふ頭港湾厚生センター、大黒ふ頭レストハウス

(7) 無料 Wi-Fi 設備の設置

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館、本牧ふ頭港湾厚生センター
大黒ふ頭港湾厚生センター、横浜市港湾労働会館

(8) その他

港湾労働者の福利厚生事業や港湾に関する行事並びに横浜市主催・協賛のイベント
等において、施設の無償貸付及び開放を行い、利用促進を積極的行いました。

7 研修等の計画・実施

(1) 食品衛生講習会の開催

衛生意識の向上と食品事故等の防止のため、中福祉保健センターから講師を招き、各店舗の食品衛生責任者を中心に「食品衛生講習会」を開催しました。

開始日時：2024年5月31日（金） 15時00分～

開催場所：山下ふ頭港湾厚生センター別館 4階会議室

受講者数：35名

講習内容：食中毒予防・食品衛生について

(2) 避難訓練の実施

災害発生時における初動対応の確認と防災意識向上のため、避難訓練を実施しました。

日付	開催場所	参加人数	訓練内容
10月28日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	約40名	火災発生時の対応の確認、避難誘導の実施
12月10日	山下ふ頭港湾厚生センター別館	約20名	〃
12月10日	本牧ふ頭港湾厚生センター	約20名	〃
12月10日	本牧ふ頭B突堤厚生施設	約5名	〃
12月10日	大黒ふ頭港湾厚生センター	約20名	〃
12月10日	横浜市港湾労働会館	約10名	〃

8 自己評価について

施設利用者は回復傾向にあり、全体的に食堂と売店の利用者数は増加しましたが、会議室においては夜間や土曜日の利用件数が減少傾向であったため、昨年度より減少しております。

利用者アンケートにおいては、全体的に良好な評価を頂いており、利用者のニーズに応え満足度を高める業務を適切に遂行できたと考えております。

9 その他

前年度に引き続き、省エネルギーへの取り組みの一環として各施設の夏季室温を28度に保つ設定としました。

また、横浜市との連帯を密にとり、報告・連絡・相談を徹底することで業務の円滑遂行を図りました。

指定管理施設 2024年度収支決算書

全施設

(単位:円)

科 目		金 額	科 目		金 額
指定管理料		89,711,000	維持管理運営費		86,840,227
	管理料	80,872,729		人件費	22,856,994
	消費税	8,087,271		消耗品費、備品購入費等	15,680
	物価高騰	751,000		光熱水費	11,541,650
				清掃費	27,840,288
				安全管理費・設備保守点検費	13,873,852
				保険料	209,255
				小破修繕費	2,097,410
				租税公課等	346,896
				その他支出	163,636
				小計	78,945,661
				消費税	7,894,566
				自主提案事業による支出	7,864,060
				自主提案事業	7,149,145
				消費税	714,915
収入合計		89,711,000	支出合計		94,704,287
収支差額(不足額)		4,993,287			
合計		94,704,287	合計		94,704,287